



概要版

# 茂原市総合計画 後期基本計画

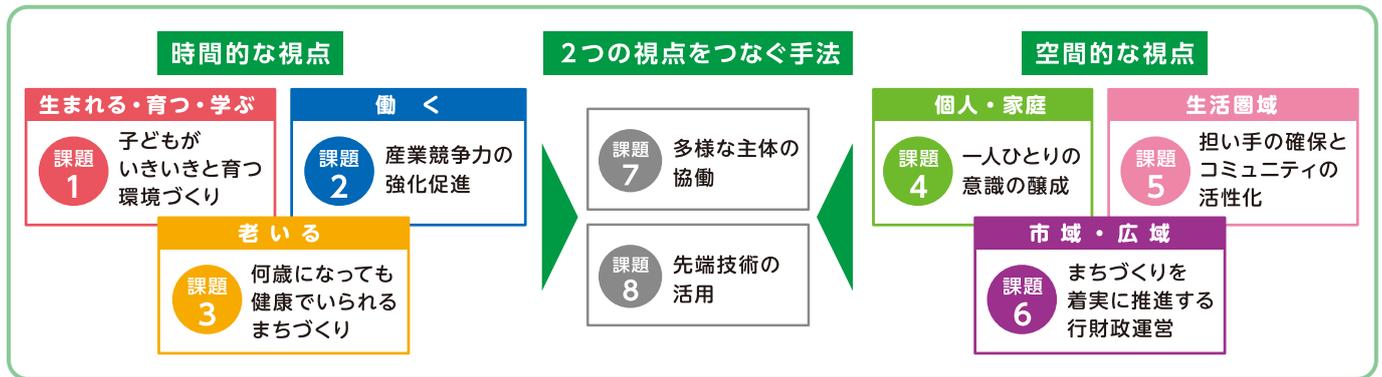
2026 ▶ 2030

未来へつながる「交流拠点都市」もばら





## まちづくりの重点課題



## 基本方向

- 誰もが安全安心に暮らせるまちづくり
- 一人ひとりの地域参加で拓く協働のまちづくり
- 明日を担う人を育む未来に向けたまちづくり
- 地域資源を活かしたにぎわいあるまちづくり

## 将来都市像

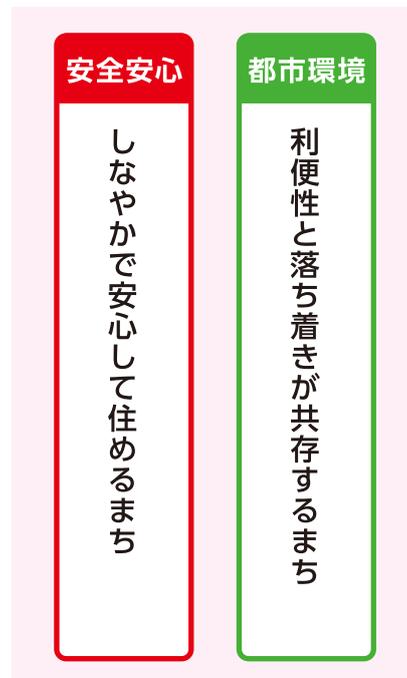
# 未来へつながる「交流拠点都市」もばら

## 将来都市像を実現するための基本政策

### 市民生活 に関する基本政策



### 都市づくり に関する基本政策



### 計画推進に関する基本政策



★ 将来都市像の実現に向けて、Well-being の視点を導入し、まちづくりを通じて市民の「幸福度」及び「生活満足度」の向上を図ることを新たな目標として設定

## 地域幸福度 (Well-being) 指標とは？

市民の「暮らしやすさ」と「幸福感 (Well-being)」を数値化・可視化する指標であり、「主観指標」「客観指標」の2つの指標から構成されています。

### 主観指標

- ・アンケートデータをもとにしている
- ・「幸福感 (Well-being)」を算出したもの

### 客観指標

- ・各種オープンデータ等をもとにしている
- ・「暮らしやすさ」を測定したもの

市民アンケートにおいてWell-being に関する設問に回答いただき、茂原市独自の「主観指標」を測定

## 【計画の目標 (Well-being指標)】

目 標	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
幸福度の向上	3.3	3.5
生活満足度の向上	3.3	3.5

※ Well-being 指標は、茂原市まちづくりアンケート(令和6年度)の結果をもとに、「非常にあてはまる=5」「ある程度あてはまる=4」「どちらとも言えない=3」「あまりあてはまらない=2」「全くあてはまらない=1」の5段階評価の平均値により算出

## 人口の見通し

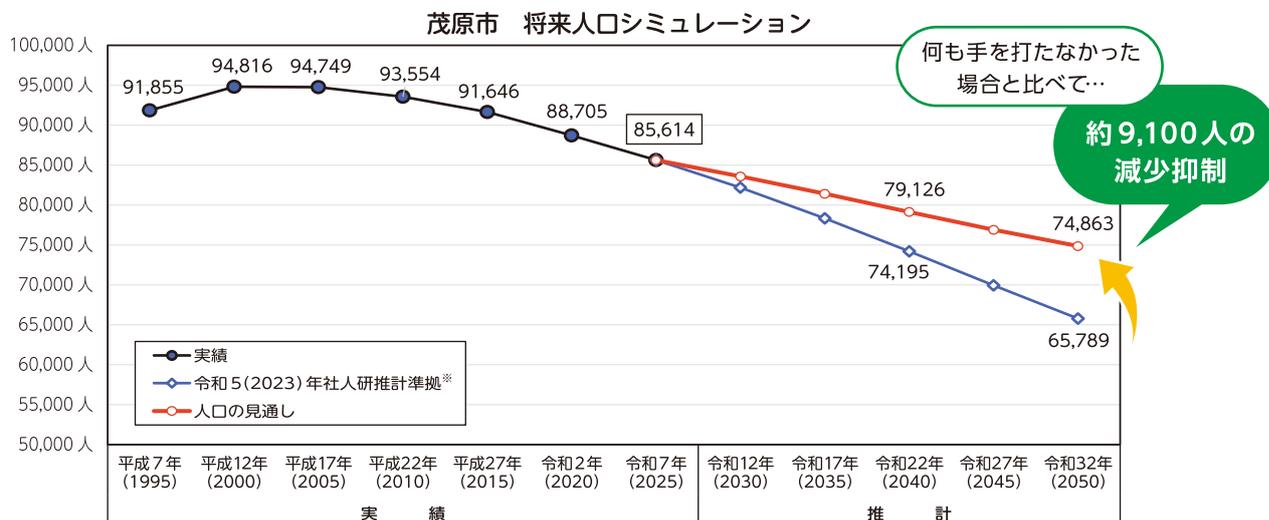
令和7(2025)年

85,614人

- 合計特殊出生率の向上
- 社会増への転換
- 若年女性人口の減少抑制

令和32(2050)年

74,863人



※ 社人研による令和5(2023)年推計結果を基に、令和7(2025)年4月の住民基本台帳人口を踏まえた本市の推計値。

- ★ 国や県の基本目標や本市の現状・課題を踏まえた上で、以下の4つの基本目標と1つの横断的な目標を設定し、取組を推進していきます。
- ★ 総合戦略の推進においては、地域ビジョンの実現に向けた数値目標と重要業績評価指標(KPI)を設定し、PDCAサイクルを実行することで、計画の見直し・改善を行いながら、着実な推進を図ります。



## 【基本目標1】 若者や女性にも選ばれるまち

子どもから高齢者まで誰もが互いに尊重し合い、活躍することができる環境づくりとともに、生涯にわたり安心して暮らし続けられるまちづくりを推進することで、若者や女性にも選ばれる“楽しい茂原”を目指します。



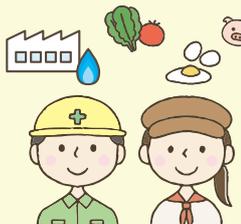
## 【基本目標2】 出産・子育ての希望が叶うまち

若い世代の妊娠・出産、子育てに関する希望が叶うよう切れ目のない総合的な支援を推進します。



## 【基本目標3】 新たな人の流れをつくるまち

「住みたい」「住んでみたい」のニーズに応える環境の整備により移住・定住の促進を図るとともに、茂原市と多様な形でつながりを持つ交流・関係人口の創出に向けたシティプロモーションを推進します。



## 【基本目標4】 地域資源を活かし付加価値を創出するまち

茂原市の豊富な天然資源や農産物などの地域資源を活かした新産業の創出や企業立地の促進を図るとともに、既存企業や農業の生産性向上、販路拡大を支援します。



## 【横断的な目標】 デジタル・新技術の徹底活用

デジタル技術を積極的に活用することで、地域課題の解決や改善を図り、誰もが豊かに暮らせる社会の実現を目指します。

施策や3か年実施計画に基づき実施した事業の効果検証の上、PDCAサイクルに基づき施策・事業の見直しを行います。

地域ビジョン

未来へつながる「交流拠点都市」もばら

## 地域ビジョンの実現に向けた数値目標

### 基本目標① 若者や女性にも選ばれるまち

指標	基準値	目標値(R12年度)
Well-being指標『多様性と寛容性』	2.5(R6年度)	2.6
Well-being指標『移動・交通』	2.4(R6年度)	2.6
Well-being指標『事故・犯罪』	2.8(R6年度)	3.0
Well-being指標『自然災害』	2.8(R6年度)	3.0
定住意向のある若者(10~30歳代)の割合	38.8%(R6年度)	45.0%

### 基本目標② 出産・子育ての希望が叶うまち

指標	基準値	目標値(R12年度)
Well-being指標『子育て』	2.7(R6年度)	2.9
出生数	365人(R6年度)	473人

### 基本目標③ 新たな人の流れをつくるまち

指標	基準値	目標値(R12年度)
Well-being指標『住宅環境』	3.6(R6年度)	3.8
Well-being指標『地域とのつながり』	3.1(R6年度)	3.3
社会増減数	115人(R6年度)	339人

### 基本目標④ 地域資源を活かし付加価値を創出するまち

指標	基準値	目標値(R12年度)
Well-being指標『雇用・所得』	2.2(R6年度)	2.4
Well-being指標『事業創造』	2.2(R6年度)	2.4

## 横断的な目標 デジタル・新技術の徹底活用

指標	基準値	目標値(R12年度)
Well-being指標『デジタル生活』	2.6(R6年度)	2.8

※Well-being指標は「非常にあてはまる=5」～「全くあてはまらない=1」までの5段階評価の平均値により算出

## 第1節 人が育ち文化と歴史がとけあうまち 《教育文化》

### ① 生涯学習

- 市民誰もが、ライフステージや興味・関心に応じて自主的に生涯学習に取り組める環境の整備を進める
- 地域全体で生涯学習に取り組む体制の推進を図る

### ② 学校教育

- 児童生徒が安全安心に学ぶことのできる教育環境の整備を推進する
- 一人ひとりが自らの個性を生かし、確かな学力を基礎とした変化の激しい社会で生きる力を身に付ける力を育成する
- 多様な他者と協働しながら自立して生きる豊かな人間性を育む

### ③ スポーツ・レクリエーション

- 一人でも多くの市民が生涯にわたってスポーツに親しみ、健康で明るく豊かな生活を送ることができるよう、スポーツ推進を図る

### ④ 文化・芸術

- 文化施設の整備や文化活動イベントの開催、団体への支援を推進する
- 貴重な文化財を指定文化財として保護・保存・展示するとともに、本市独自の伝統芸能を保護し、次世代への継承を進める

### ⑤ 青少年健全育成と家庭教育

- 青少年の健全育成に資する活動や場を整備する
- SNSなど、新たな社会環境の変化に対応した適切な環境づくりと非行防止に取り組む
- 家庭の教育機能の向上に役立つ情報の発信と個々の家庭への相談体制の充実を図る
- 学校・家庭・地域の連携による地域における教育の質の向上を図る

### ⑥ 国際化

- 国際理解の促進や国際感覚の醸成を図る
- 外国人住民とともに暮らしやすい多文化共生社会の実現を目指す



## 第2節 誰もが自分らしく健康に暮らせるまち 《健康福祉》

### ① 地域福祉

- 地域共生社会の実現に向け、地域に住む誰もが安心して暮らせるよう、地域住民や事業者、社会福祉の関係者などが連携・協力し、地域における生活課題の解決に取り組む

### ② 子育て支援

- 未来を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、子どもと子育て家庭を地域全体で支え、安心して楽しく子育てできる環境の実現を目指す

### ③ 高齢者福祉

- 介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう、地域で助け合う体制づくりを進める
- 高齢になっても生きがいを持って暮らせる地域を目指す

### ④ 障害者福祉

- 障害のある人が住み慣れた地域で主体的に生活できるよう、個人の状況や適性に応じて、生活全般を支援する体制を整備する
- 障害に対する理解を醸成し、地域の活動への参加を促進する

### ⑤ 保健医療

- 市民主体の健康づくりを支援し健康寿命を延ばすことにより、心身ともに健康で豊かな潤いのある生活の実現を目指す
- 市民が安心して医療を受けることができるよう地域の医療体制の充実を図る

### ⑥ 社会保障

- 市民が安心して医療を受けられるよう、国民健康保険制度及び後期高齢者医療制度の健全な運営を目指す
- 国民年金に関する身近な相談窓口として、国民年金制度の周知に努める



## 第3節 未来への活力とにぎわいがあるまち 《産業振興》

### ① 農林業

- 市内農業の生産基盤の整備や農用地の保全に努めつつ、担い手の育成支援や法人化の促進に取り組む
- 農業経営の改善を支援しつつ、農産物のブランド化をはじめ、付加価値の向上に向けた取り組みを進める

### ② 商工業・中小企業

- 市内企業の技術開発や後継者の確保を支援しつつ、戦略的な企業誘致を進め、地域全体の産業競争力を高める
- 中心市街地のにぎわい創出・活性化や、市内中小企業の経営支援、起業・創業支援に取り組む

### ③ 観光

- 観光振興を図るため、広域観光ルートの整備を進めるとともに、新たな観光資源の発掘や効果的なPR方法の検討を進める

### ④ 雇用

- 雇用の場づくりを促進するとともに、豊かでゆとりある生活に向けた勤労者福祉の充実に努める



## 第4節 しなやかで安心して住めるまち 《安全安心》

### ① 防災・消防

- 市民の生命、身体及び財産を守るため、豪雨による被災経験などを踏まえて防災体制を強化し、安全な地域社会づくりを推進する
- 火災の大型化、複雑化や超高齢化社会に対応した消防・救急体制の充実を図る

### ② 河川等

- 市内を流れる一宮川をはじめとする二級河川の治水安全度を高めるため、改修の促進を関係機関に働きかける
- 準用河川の改修を推進するとともに、適正な維持管理に努める

### ③ 防犯

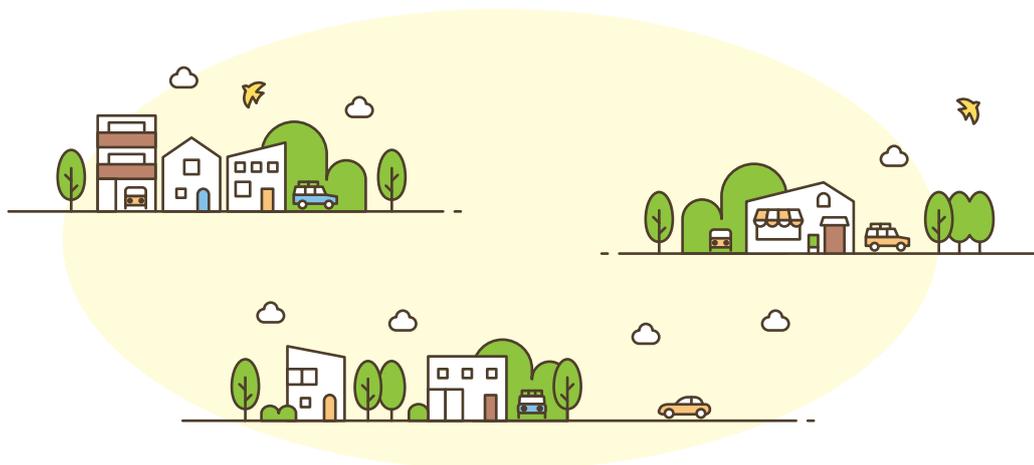
- 市民一人ひとりの防犯意識の高揚や地域における犯罪抑止力の向上を促し、関係機関との連携のもと、犯罪のない明るく安全で安心な地域社会づくりを目指す

### ④ 交通安全

- 交通事故を防止するため、関係機関・団体との連携のもと市民一人ひとりの交通安全意識の向上に努める
- バリアフリーに配慮した交通安全施設の整備を推進し、安全で安心に通行できる交通環境づくりを目指す

### ⑤ 消費生活

- 市民が安全で安心な消費生活を送れるよう、相談体制の充実や地域の見守り力向上に努める
- 消費者の自立を支援するため、消費者教育を推進する



## 第5節 利便性と落ち着きが共存するまち 《都市環境》

### ① 土地利用

- 都市計画マスタープランに基づく適正な土地利用を推進する
- 景観計画に基づく良好な都市環境形成と地籍の適正管理を進める

### ② 市街地整備

- 商業機能の集約及び市街地活性化を図るため、中心市街地の整備を継続的に進める
- 景観計画に基づく良好な都市環境形成と地籍の適正管理を進める

### ③ 総合交通体系

- 物流機能の確保、都心とのアクセス向上のため、市外・市内を結ぶ道路網整備に努める
- 鉄道については、関係機関と連携を図り増発の要望を行い利便性の向上に努める
- 地域の特性に合わせた最適な移動手段を確保・維持するため、持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を図る

### ④ 上水道

- 水道の経営基盤の充実などを通じ、安全で安心な水道水の安定的な供給を目指す

### ⑤ 下水道等

- 未整備地区に対する公共下水道の計画的な整備を検討するとともに、既存施設の維持管理や老朽化対策を進める

### ⑥ 公園・緑地

- 豊かな生活を支える自然環境、グリーンインフラであるとの認識のもと、官民を含めた多様な主体との連携を図りながら保全・利活用に中長期的な視点で計画的に取り組む
- 誰もが快適に過ごせる居心地の良いオープンスペースとしての空間づくりによる持続可能なまちづくりを目指す

### ⑦ 住宅環境

- 安全で快適な暮らしの場づくりを進める
- 空き家対策を進めることにより、地域における環境改善等を図る

### ⑧ 環境保全

- 広域的な連携のもとにごみ・し尿を適切に処理し、清潔な暮らしの環境を整える
- 市民・事業者の自発的な行動を促しながら、環境美化や地球温暖化対策を推進する

## 第6節 市民が主役の持続可能なまち 《協働推進》

### ① 協働のまちづくり

- 市民に対する適正な情報公開に努めつつ、市民の市政参加の機会の充実を図る
- 市民活動の基盤となる地域コミュニティの活性化を促すとともに、ボランティア活動を支援する

### ② シティプロモーション

- 多様な情報伝達手段を活用しながら、市内外への情報発信を強化する
- 本市の魅力の発掘・発信や知名度向上に努めることで、本市と多様なつながりを持つ交流人口・関係人口を創出するとともに、移住・定住のさらなる促進につなげる

### ③ 人権・男女共同参画

- 市民一人ひとりが互いを尊重し合い、差別のない明るい社会を目指す
- 男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発を推進しつつ、政策意思決定過程への女性の参画を促進し、女性の視点を取り入れた社会づくりを進める

### ④ 地域情報化

- 市民との情報共有促進や行政の効率化を目指し、セキュリティ対策も強化しながら地域情報化を推進する

### ⑤ 適切な行財政運営

- 厳しい社会経済情勢の中、多様化する行政需要に対応できるよう、組織の構築及び多様な主体との協働に努める
- 行政評価に基づく計画行政を推進しつつ、将来を見据えた健全な財政運営を図る

## 茂原市総合計画 後期基本計画 2026 ▶ 2030 概要版

令和8年3月

発行：茂原市

〒297-8511 千葉県茂原市道表1番地 [TEL] 0475-23-2111 (代表)

編集：総合企画部企画政策課

[TEL] 0475-20-1516 [FAX] 0475-20-1602 [Email] kikaku@city.mobara.chiba.jp